

## 四国中央市福祉バス運営審議会 会議概要

1. 日 時 令和4年7月13日（水） 午後2時00分～午後2時50分
2. 開催場所 四国中央市 新宮窓口センター1階応接室
3. 出席者 委員 会長出水武美、副会長篠原隆輔、山本正行、藤原清子、脇 廣子、  
三鍋邦代  
(敬称略)  
事務局 観光交通課長 岸井宏次、観光交通課交通政策室長 鈴木武雄、  
課長補佐 大岡 潤

### 会議の概要

1. 会長あいさつ
2. 自己紹介

人事異動により、観光交通課長が岸井宏次に、事務局係長が石川裕美となった。また令和3年度の委員の改正により脇 廣子委員が新しく就任した。続いて、観光交通課長と脇委員の自己紹介を行った。他の委員は事務局から氏名のみの紹介を行った。

3. 議事 1. 令和3年度の福祉バス利用状況について事務局より報告

- ・一般乗合利用者数（現金での利用者）を、路線別に報告。令和3年度の利用者数合計は2,627人（年間延べ人数）であった。
- ・定期券・回数券・しこちゅ～チケットの利用状況について

新瀬川線について、以前は通学バスとして定期券の利用があったが、現在は利用者無し。一般乗合者数865人、回数券利用者396人、しこちゅ～チケット利用者数5人、合わせて1,266人であった。上部線について、回数券利用者は506人であった。しこちゅ～チケットについて、下部線17人、新瀬川線5人、上部線8人、合わせて30人であった。年間の利用者数は、一般乗合利用者数2,627人、回数券利用者902人、しこちゅ～チケット利用者30人、合せて3,559人で、1日当たりの利用人数は約15人であった。

議事1について質疑応答なし。

- ・平成25年度から令和3年度までの年間利用者数の推移について

平成25年度は6,966人であった利用者が令和3年度は3,559人と減少しているが、現在利用している高齢者等の交通弱者にとっては、欠かせないものである。

利用者数及び収入減少の要因として、転居や利用されていた高齢者の施設入所等による人口減少が大きく影響している。

## 議事2. 運輸局への登録更新（R5年度）に向けた見直し（案）について

上山上部線・日浦線・上山下部線・大谷線・杉谷線・田之内線の6路線については現状を維持し、新瀬川線については利用者の利便性や運転手の負担軽減を考慮し運行時間を改正する予定である。

改正案① 第4便：新宮着 13:41 新宮発 13:45 を 新宮着 13:41 新宮発 13:55 に改正することで、待ち時間が4分から14分になるので利用者の買い物等の時間が確保できる。

改正案② 第7便：瀬戸内バス新宮着 17:52 の接続で、新宮診療所発 17:54 としていたが、この便を利用していた高校生も4年前からゼロの状態であり、その他の乗客実績もない。これにより、運転手の待機時間を54分から25分へ短縮し労働時間を軽減する為、新宮診療所発 17:25 に改正したい。

陸運局の更新は3年に1回となっており、今回は令和5年10月1日となっている。

## 議事2について

脇 委員より

上山下部線の運行について地域からの意見で、現在は鳩岡集会所が終点で、そこから折り返して新宮診療所へ運行しているのを、亀尻方面を通過して診療所へ運行するように変更できないか。

事務局(大岡) 検討します。

事務局(鈴木)

- ・瀬戸内バスのダイヤ改正について、令和4年10月1日に改正される予定。  
三島駅発 7:43 新宮行 と 新宮発 8:24 三島駅行 が日曜祝日運休となる。
- ・議題②で上がった新瀬川線の第7便の瀬戸内バスとの接続が無くなる件は、現在通学している高校生が3名おり、部活動等で遅くなる時はデマンドタクシーを利用しているので、帰宅手段は確保できている状況。

事務局(大岡)

住民の皆さんも瀬戸内バスの廃線を心配されていると思うが、そうなれば福祉バスの運行にも大きく関わってくるが、今のところそう言ったことはない。

事務局（鈴木）

バスの減便・廃線については、利用者数に応じて町中でも起こっている状況。何か変更があれば情報共有していきたい

事務局（大岡） R3年度実績と R4年度年間計画について報告

議事 2 改正（案）①②について異議なし。

その他の意見

脇 委員より

バスの通行する道路の草が伸びているが、草刈は地域で行わなければいけないのか。

事務局（大岡）

市道については建設課対応。その他はシルバーへの委託を行ってきた。また新宮窓口職員でも対応してきたが、職員の減少により対応が難しくなってきた。出来れば地域住民でも草刈をして欲しい。

観光交通課長 閉会のあいさつ